

読む ミルク

今年の3月に私は、南山
 大学大学院の経営学修士を
 取得しました。でも、研究
 不足や学術的な知識不足も
 多く、4月からは質の高い
 環境と指導体制が整ってい
 る北陸先端科学技術大学院
 大学に、さらに進学するこ
 とにしました。そこで、「女
 性起業家の創出」や「起業
 家のジェンダー特性」の研
 究を、深めていきたいと考
 えています。

周囲には、私同様に大学
 院に進んでいる社会人が意
 外も多く、大学院の進学希
 望者もかなりいます。なぜ
 なら、ある程度社会に出る

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

社会人の大学院の選び方

と、腰を据えて経験知に学
 術的な見地を絡ませて、結
 果を導き出したいという欲
 求や課題が生まれてきま
 す。あるいは、今までの経
 験を踏まえて、新たな方向
 性を確立するために、修士
 や博士の資格が必要になる
 ことがあるからです。

これまで、社会人が仕事

います。これは、とても
 歓迎すべき点ですが、大
 学院を選ぶ際に学校案内
 以外の暗黙知の情報が得
 にくいことが懸念点にな
 っています。

大学と違って大学院は、
 自分がやりたい専門の研究
 を指導できる教授の存在
 と、さらにその教授との関

いるかも、チェックポイン
 トです。実際に、大学院側
 では社会人の状況を把握し
 きていないせいも、表面
 的な社会人向けのカリキュ
 ラムだけになっている大学
 院も見られます。そのため、
 時間外のグループワークな
 どで、時間のやりくりがで
 きずに挫折したり、事務局

講だとと言われると喜びます
 が、社会人はたとえ代講が
 あっても、スケジュールが
 狂うため、安易な休講や代
 講は辛いものがあります。
 民間では信じられないこと
 ですが、大学院によっては
 教授まかせで、講義内容を
 含め管理がまったくされて
 いないところもあります。
 貴重な時間とお金を費や
 していくので、大学院選び
 は教授への問い合わせはも
 ちろんのこと、研究室の訪
 問や在籍者の声や、事務局
 訪問など、慎重に多くの情
 報収集をおこなう必要があ
 ります。

をしなから、大学院に行く
 ことは時間的に難しく、ど
 うしても、休職や退職を奈
 儀なくされてきました。昨
 今、大学側が少子化の影
 響もあり、社会人にも門戸
 を広げる方針に移行してい
 るために、カリキュラムが
 改正され、夜間や土、日に
 受講できる大学が増えて

係がしつくりといかない
 と、研究成果が出にくくな
 ることを把握しておかな
 ればなりません。いかに指
 導をしてくださる教授を見
 つけるかということが重要
 な要素になります。

また、自分の仕事と両立
 のできる環境やカリキュラ
 ムなどの指導体制になって

や図書館が夜間や休日を開
 かれていなくて、大学の環
 境を利用できない不便さ
 振り回されることもありま
 す。あるいは、講義も形骸
 的な内容で、指導とはかけ
 離れた昔ながらの師弟制度
 で「教えを請い」にいか
 い限り、放任のところもあ
 ります。一般的な学生は休

これまで社会人には敷居
 が高かった大学院も状況が
 変わってきています。しっ
 かり自分にあった大学院を
 選び、さらなる自己向上の
 場とされてはいいかがでし
 ょうか？



行政の相談窓口を利用されたことはありますか？
最近、女性起業家の調査研究をしていると、意外に行政の相談窓口が活用されていないことに気づきました。

起業する時には「どうやれば、起業できるのか？」「資金はどれくらいかかるのか？」「手続きは必要なのか？」「利用できる支援はあるのか？」など、専門

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

家に聞きたいことや教えてもらいたいことが山のようにあります。ところが、女性の場合は営業、経理、労務管理や仕入れなどの経験や、自分が表に立っての社会的経験も少ないため、それを経営力として引け目に

政側の「知識がない部分を支援しますので、気軽に相談に来てくださいが、残念ながらことごとく対象者に伝わっていないと言えます。また、相談窓口の雰囲気

口があまりにオープンで誰からも見えてしまい、そのうえ静かなため相談内容も聞かれていないようで、せめて銀行のように簡単な問仕切りでもあれば随分行きやすいとのコメントも聞かれました。その他にも、ワン・

つたおかげで起業がスムーズにできた」「起業後も親身になって進捗をたずねてくれてアドバイスをもらえる」「自分が気がついていない問題点の指摘を受け非常に助かった」という声も聞かれます。

行政の相談窓口

感じています。そのため「面識もない専門の先生方に、自分の知識レベルで相談に行く」と、それで起業をするのかと呆れられてしまうのでは……という推測をしてしまい「敷居が高くて行けない」になるようです。行

間のように入るなりに「いらっやいませ！ ご用件を承ります!!」とそばに走り寄るまでは必要ないでしょうが、窓口に行っても声を掛けないと誰にも振り向いてもらえないところもあるようです。さらに、窓

ストップ・サービス(注)が機能していないためか、せっかくだけでも、窓口のたらいまわしや「こちらでは対応してない」と、関連窓口の紹介もなく終わった経験のある人もいました。もちろん「あの窓口へ行

今回の相談窓口のお話しは、女性の起業支援だけでなく、行政の相談窓口全般に感じられることだと言えます。せっかくの相談窓口です、気軽に利用しやすい雰囲気を作ってもらい、私たちも積極的に活用をしていきましよう！

(注)様々なサービスをひとつの窓口で提供する「

読むミルク

ライフワークの一環で起業家創出の調査研究をするなか、公的機関の起業家支援が活発化してきていることをうれしく感じています。

ただ、新規開発や起業の支援策はあっても、「実績がない」という理由で、開発した技術を公共事業で採用してもらえなかったり、入札参加のための業者登録に決算書などがないと駄目という理由で、起業したて

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

のところは実質発注対象から除外されてしまっているのが課題といえます。つまり、「新しい芽を育成する」といいながら、「新しい芽は信用できない」という矛盾した状態になっているのです。

交渉力、資金力の向上に結びつくからです。米国では連邦取得合理化(FASA法)により「連邦政府のすべての省庁は物やサービスの少なくとも5%を女性所有企業から購入する」ことが義務付けられています。

というものです。実際に使ってみて評価を行い、公表することにより、「公的機関に評価された」という実績を営業に生かして、販路を拡大することができま

す。これまでFASA法やトを改正し、この制度が実際にトライアル発注を受けたところからは、新規開発支援金を設けてもらうより、実績を積み重ねてもらう機会の方があ

発注見直しで起業支援を

特に男性と比較してビジネスでの経験を積む機会が少ない女性の起業家を育成するには、公的機関の発注

務付けられていて、女性起業家の大幅な増加に貢献しています。

また、新規開発支援でトライアル発注が注目されてきています。これは、中小企業が開発した製品で、優れた特性を持つものを公的

機関で試験的に発注することになり、各県では条例

特に男性と比較してビジネスでの経験を積む機会が少ない女性の起業家を育成するには、公的機関の発注

また、新規開発支援でトライアル発注が注目されてきています。これは、中小企業が開発した製品で、優れた特性を持つものを公的

機関で試験的に発注することになり、各県では条例

でしようか。

れしました。

まだ、新規開発によるトライアル発注だけですが、起業したて

のところが、特に社会的経験の少ない女性の起業家を育てるには、現在の公的機関の発注制度だと、このようなどころを締め出していることを認識し、「実践的に育成」する制度を考える時期に来ているのではない

読む ミソク

皆さんは、出欠を含めたメールなどの返事はされていますか？私は会の幹事をやる機会が多く、その時に一番大変なのが出欠確認です。

返信がもらえない方を「欠席」と決めてしまえば楽ですが、こちらの手違いでメールやファクスが届いていないかもしれないという可能性や、気がつかなくてメールを消してしまったかもしれないかもしれません。念のため確認の電話をいれることがよくあります。大概は、「迷っている」

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

「スケジュールがはつきりしない」という理由から返事を躊躇(ためら)されています。できれば、今の状況でいいので返事をいただくと、幹事としては「？」メンバーとして予定が組めるので助かります。

人数によっては場所を変更しないといけない時

くる方もいます。そうなる

いて下さい」と言ってもら

幹事に「ご協力」を！

もありませんし、お店の方がほかの予約を断って部屋を準備し、場合によっては助っ人を頼んでいることもあります。さらに、直前の「キャンセル」は急いで予約先に連絡もしなければならず、お店にとってもけっこう辛いものだと思います。

また、連絡なしに遅れて

きついのは、連絡をする

くことになります。こうい

なかなり手がいないのが現状で

また、幹事をやる上、運営、予算管理や文章作成にいたるまで勉強になります。会員の方向との接点も増えるなどの利点もいっぱいあります。皆さん、幹事に「ご協力をお願いします!!」

読む

女性起業家の調査研究をしていると、「同じ立場の仲間が少なく、相談相手がない」という切実な声が聞かれます。男性の場合、同級生や知人が行政・民間を問わず各ジャンルの責任ある立場にいます。何かあれば電話一本で情報収集でき、相談相手も紹介してもらえます。しかし、女性の場合、社会における友人や知人の構成が男性とはかなり違ってきます。女性の役職者は少なく、経営者、さらに起業家となることも非常に希少です。

その女性起業家(希望者

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

女性起業家の交流の場

含む)が、男性が作り上げたビジネス社会に、女性ならではの思考や社会環境で参入するには多くの課題があります。例えば、女性は男性と成功の目標が大きく違います。男性は売り上げなどの明確な数字目標を立て、その数字を絶えず大きくしていくことが重要です。女性もいいんじゃない?」

男「それじゃ、大きくできないうよ」

女「お客様の喜ぶ顔が見られればいいの」

男「……」

——とまってしまいました。ほかに、女性の話も聞いてもらって「共感」していただくことも、起業調査や講演

また、広域で勉強会や交流会、調査研究などの活動をする女性起業家交流会(5月26日には、北陸3県の女性起業家(希望者含む)100人が集う「女性起業家お悩み解消・交流会 in HOKURIKU」を金沢で開催することになりました。

こうした交流の場を通じ、地域に根付いた、育児、家事、介護との両立もできる「生活

性の場合、数字目標やそれを大きくすることよりも、お客様の喜びや自分自身の感性、充実感を大切にしていきます。従って、男性に商売の相談をするとき、女性「もっと商品を知ってもらいたいんだけど」

男「チラシを作ってDMを出し、接待もしないと」

女「そこまでやらなくていいんじゃない?」

男「……」

——とまってしまいました。ほかに、女性の話も聞いてもらって「共感」していただくことも、起業調査や講演

で伺った先で、「せっかくだから、交流会を作りませんか?」と働きかけるようになっています。その結果、昨年は小松商工会議所の創業塾「花火の会」や、金沢市女性センターの女性のための起業支援セミナー受講者による「COIORS」が誕生しました。

「いつかは起業!」と思っている方も、既に起業されている方も、同じ立場の女性が集う女性起業家交流会に参加し、ともに切磋琢磨して行きましよう!



人の死に触れた時、不思議とその方の生き様や自分とのふれあいの部分が、鮮やかに走馬灯のように思い浮かんできます。

昨日、お世話になった社長が59歳という若さで急逝されました。その方は私が会社を始めた時、安定的に仕事を発注してくれた最初の方でした。その会社の出入り業者だった私の友人の紹介がきっかけでした。

その時、25歳の私は経営に關してまったくの素人で、営業をしたことがないだけでなく、原価管理すら未経験でした。そんな危なっかしい私に、どのように仕事を請け負えばいいのかということから、社

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

員管理や諸手続きの仕方まで、親切に教えてくださいました。お酒が大好きで、夕方になると湯のみ茶わんでカムフラージュしながら仕事場で飲まれている、クリエイティブな業界らしく、味わいのある型破りなキャラクターでした。ふらっとつかがっても、嫌な顔をせずに相談相手になって

知人の訃報に想うこと

るとは想像もできません。改めて後悔することになってしまいました。突然といえば、何年前になりませんが、沖繩で事故に遭い、亡くなった友人の男性がいました。出会ったのは私が23歳の時。共通項は互いに生意気で、毒舌で、努力しない人が嫌いで、同じ年に金沢に

くれました。

その会社から請け負っていた仕事も終わり、私自身も仕事も忙しくなったため、いつの間にかうかがうこともなくなっていました。近々を

転動してきたこと。一回り以上も年が違ったのに、変に気が合いました。東京に転動された後も、金沢に来ると「飲もう！」と連絡をくれました。彼が知人の葬式に日帰りで金沢に来た日、お昼を一緒に食べることになっていました。「まだ、式が終わらないけど、途中で出るのは亡くなった方に申し訳ない」と、彼

よき者ですが、時間に追われて「そのうち」と過ぎていきました。

最後に、故人にいたたたたくさんの教えと思い出を胸に、ご冥福をお祈りします。

人の死を予知できないとはいえ、まさか59歳で急逝され

らしい思いやりから遅れる旨の連絡がありました。その後、私のスケジュールが合わず、「またね」が最後の言葉となってしまいました。そのひと月後、彼は不慮の事故で帰らぬ人となりました。私自身も25歳の時、たまたま受診した検査で腹膜の腫瘍が見つかりました。「悪性なら危ない」と言われ、その日

読む ミルク



ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

1月の本コラムで簡単に紹介した「女性起業家(希望者)お悩み解消・交流会 in H OKURIKU」が今月26日、金沢市で開催されます。主催は「女性起業家交流会 in H OKURIKU」で、代表は私が務めさせていただいていま

女性起業家の本音を聞こう

この会は石川、富山、福井の3県を「ひとつの経済圏」としてとらえ、調査研究を基に、女性起業家の創出や支援に関する勉強会や交流会、提言を行うために設立されました。女性起業家の会同士や、行政・金融など関連機関との橋渡しの役割も

担っています。当日のプログラムは、これまでの調査から浮き彫りになった課題を中心に実践的なテーマで構成され、「私の知りたかったことだー」という内容が必ず見つけられます。まず、国民生活金融公庫総合研究所で女性起業家に関する調

査をされた武蔵大学教授の高橋徳行さんが「女性起業家の特徴——成功と失敗の分岐点」と題して基調講演されます。国民金融公庫は、女性が借り入れをする時に最初に訪れる所といわれます。実態がつかみにくいところの日本の女性起業家のデータを一番把握しており、聞き逃せ

さらに、会の特徴でもあるワークショップは、地元を中心とした各分野の専門家や、実際に女性起業家として数々の経験を乗り越えられてきたメンバーの方が進行する形式です。少数で行うので、参加者の方には必ず発言の機会があり「みんな同じ経験をしているんだ！」

「なるほど」と感じられるはず

です。その後の交流会もお勧めです！人脈が少なく、会う人も限られている女性にとっては「起業したけど……」「いつかは起業！」「同じ立場の仲間や、それを支援する人たちとの多く

の出会いがあるはず」です。起業

家支援など関係者の方々も、女性起業家の生の声を聞きたい機会ではないでしょうか。女性の起業は「組織型」ではなく、「生活に密着し、ひとりで、自宅」という「生活型」が大半を占めます。生活型は資金面などのリスクは少なく、起業自体は難しくありません。しかし、女性は男性と比べて社会経験や仕事における人脈の少な

い話がいっぱいあると、私も楽しみにしています。続く、パネルディスカッションは、テレビでもおなじみの女性起業家でアナウンサーの横田幸子さんがコーディネーターを務め、3県を代表する女性起業家の皆さんから、かなり踏み込んだトークが期待できます。

「なるほど」と感じられるはず

です。その後の交流会もお勧めです！人脈が少なく、会う人も限られている女性にとっては「起業したけど……」「いつかは起業！」「同じ立場の仲間や、それを支援する人たちとの多く

の出会いがあるはず」です。起業

(http://www.g-and-s.co.jp/iyosei-kigyou)

読む ミルク



世の中には、補助金や助成金、各種の賞が多々あります。

こういった公募情報は、日ごろから気にかけている人はうまく見つけ出しますが、一般の人は存在すら知らないのが現状です。また、書きなれていない人は、応募書類の入力項目を難解な言葉ととらえ、自分のレベルでは応募は無理だと思っ

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

起業支援利用しやすく

書き方は、高校や大学ではもちろん指導していません。では、企業で学べるかというと、限られた部署でしか経験できません。

身近にない言葉に拒絶反応を示すこともなく、文章の確に自社をPRできる才能を持った人はいます。このような人は、放ってお

授賞式が10月に富山県で行われることもあり、ぜひ地元から選出されるよう、私も周囲に声をかけさせていきたいと思っています。

この賞は、頑張ろうとしている女性起業家を発掘し、支援するのが目的です。にもかかわらず、対象となる多くの方は公募を知りま

念」は難しい言葉ととらえられてしまうのです。

「公的機関の相談窓口に行き、指導を受ければ良いのに……」という声もあるでしょう。しかし、女性起業家に関する調査でも指摘されているように、女性は「敷居が高い」「行くレベルでない」という理由で行

いる機関はほんの一握りです。金沢市の「ゆめまちづくり活動支援事業」は、応募書類に関する添削指導がきちんとされており、非常に評価できるシステムです。応募者は自分のどこが悪く、どうすれば次回につながるのかわかるだけでなく、書類の書き方を学べるので、ほかの公募にも対応できる力が付きます。

いても自分で公募情報を見つけて申請します。しかし、補助金や助成金、賞の意味は、埋もれた人や支援を必要としている伸び盛りの人たちに利用してもらおうこと

ではないでしょうか？
今年度の日本商工会議所の「女性起業家大賞」は、今月30日が締め切りです。

せん。応募を勧めても、経営資源が不足している女性起業家の卵の方々は、「自分のレベルでは無理」と言われま

申請書類の書き方のアドバイスをしていて気付いたのですが、「創業の動機」は書いても、経営に携わっていない女性には「経営理

きたがりません。公的機関の支援は、対象者が公募を知り、応募し、それによって飛躍の糧となるためであるべきですが、うまく噛み合っていない

また、応募して選出されなかった方々にとっては、添削指導などのフォローが重要ですが、それを行って

「やっぱり自分のレベルでは……」と自信をなくさせるのでなく、「何が必要だったのか」「どう書けばよかったのか」を指導することが重要です。この点を考慮すれば、応募者が増え、書類のレベルが上がるだけでなく、種々の相乗効果が生まれるのではないのでしょうか？

読むミルク



能登を代表するお祭りである七尾の「石崎奉燈祭り」に行ってきました！

漁師町だけあって、重さ2トンもある奉燈を、100人近くの男衆がねじり鉢巻で威勢よく練り歩く姿は勇壮で興奮します。この夜は6基の奉燈に灯りがともされ、障子に描かれた書や絵が浮かび上がり、幻想的な雰囲気にとっても魅惑されました。

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

この日、石崎の方々には玄関を開け放し、訪れるお客さんに食事やお酒を振舞います。午後6時過ぎから夜遅くまで、入れ替わり立ち代り何十人ものお客さんが来られるそうです。私も招待してくれた知人の計らいで、2軒の家に呼んでいただきました。

もあるのです。何といっても、家の方々の温かいもてなしがとても心地よく、ひ孫からおじいちゃん、おばあちゃんまでそろった大家族の一員になったような気持ちに浸りました。

た！高さ12メートル、重さ20トンの日本一巨大なか山3台が、七尾市街の町並みぎりぎりに曳き回される様相は、大げさかもしれないませんが、震えるくらい感動でした。

なか山は見るだけではなく、見学者が綱を持ち、曳山を引っ張るメンバーに気軽に参加できるのが魅力です。これですらにお祭りへの参加意識がわき、気持ちがあぐぐと盛り上がりました。2つのお祭りは、男衆がとても粹に見え、見学者や建物ギリギリにせまり来る曳山や奉燈は言葉に表せないくらいスリリングです。

心揺さぶる七尾のお祭り

漁師町らしく、大きなテーブルには取れたてのシャコやワタリガニをそのままゆでたものや刺身が所狭しと並び、目も舌も充分に堪能しました。家自体も、この祭りのために作られたのではないかと思えるほど大きな玄関と座敷、台所があり、トイレも男女用にとつ

りませんでした。私が育った金沢は百万石行列くらいはしなく、町の人たちが熱気に包まれるような祭りを知らなかったことが要因だと思えます。

ところが、今年5月、七尾の知人に青柏祭(通称でか山)にご招待いただき、初めてお祭りに目覚めまし

た。都会で失ってしまった大切なものが七尾にはあります。この日のために仕事を休み、県外から駆けつける地元出身の人たちがいるのもよくわかりました。「百聞は一見にしかず」です。七尾のお祭りに行くと曳山の綱を引いたり、「サツカサイ、サカサツサイ、イヤサカサ」と掛け声を出してみませんか。絶対にお勧めです！

読む ミルク



女性起業家交流会 in 萩原 扶未子
HOKURIKU代表

ライフ・ワークとして、
また、「女性起業家交流会
in HOKURIKU」の代表として、女性起
業家を生み出すための環境
作りや、セミナーなどを通
じた公的支援のあり方につ
いて研究を続けています。
なぜこのような研究をし
ようと考えたのか？ 私は
25歳の時に起業し、日々、
何もわからない中で悪戦苦

闘してきました。そして、
同じような女性がたくさん
いることや、女性起業家が
増えると大きな社会的な効
果が得られることに気づき
ました。

ところが、実際に研究を
始めて困ったことがあります。
女性起業家は数が少な
いため、一歩間違えると、逆
に女性が起業を躊躇して
しまうこともありました。

なぜなら、女性は起業に必
要な社会経験が少ないた
め、ビジネスルールに関す
る知識が乏しかったり、経
験豊富な男性と比較されて
自信喪失に陥ったりする場
合が多いためです。

また、女性は「お客様の
喜ぶ顔と充実感」を目標と
する人が多く、拡大志向が
強い男性によるビジネスプ
ランの指導との間でギャッ
プが生じます。そのほか、
女性自身のロールモデル
(見本)の少なさから、さ
まざまなロス(失敗)や心
の負担をどう解決していく
か、といったことも課題です。
この調査・研究自体は始
まったばかりで、例えばセ
ミナーであれば「毎年の受
講者の変化」や「個々の経
過段階で何が課題でどんな
支援が必要か」などを継続
的に調べることが重要で
ある人(私)を知っているか、
調査結果が同じ女性起業家
にフィードバックされ、効
果があることをどれだけ理
解してもらえるかによっ
て、回収率も記載内容の深
さにも格段の差が出てきま
す。

「女性の起業」調査に協力を

く、起業の時期がはっきり
しないこともあり、データ
がほとんどありません。特
に地方では、起業前からの
データは皆無ともいえる状
態です。

この調査研究の特徴は、
単なるアンケート分析では
なく、起業を取り巻く環境
や専門用語がわかる同じ女
性起業家がインタビューし
ながら分析する点です。そ
のためには、セミナーの見
学などを通じて顔見知りと
なり、人間関係を深めるこ
とが大切です。

また、「調査」がベースにな
ります。女性起業家の創出
には、女性ならではの地域
経済の活性化への貢献や、
社会参加を促すことが大切
です。これは、育児や介護
との両立、ひいては少子化
対策までつながる問題で
す。ご協力をよろしくお願
いいたします！

これまで公的機関の起
業支援も、調査が進んでい
る男性に関するデータが基
準となっていました。この

読むミルク



2003年2月27日のこのコラムで、レジオネラ菌の調査のため、営業時間の温泉施設の女風呂に無断で入り込んできた市役所の男性職員の話を書いた。公的機関に職員のモラルの指導を要望しようとしたが、某市役所↓保険センター↓県市役所↓保険センター↓県とたらい回しにされたうえ、「モラル指導は管轄外」と言われ、時間の無駄と嫌

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

サービスは利用者の視点で

な思いつか残らなかった。なぜ、こんな話をまた持ち出すかと言つと、その後、改善されるどころか、同じようなことを体験したり、周囲から聞いたりしたからである。

例えば、「女性起業家交流会 in HOKURIKU」の代表として、行く

起業支援施策は「商工会議所か商工会」と言われたところ。さらに、商工会では「担当地域でないの、別の商工会に行ってくれ」と言われ、挙句に、担当地域の商工会では「農業は対応していない」と言われた、という悲惨な例もあった。

また、先日、客船で北海道と車を規制していた。この場所はT字の大きな交差点で車の通行量も多く、ゲート以外に停車できない場所はない。さらに、かなり大人数のツアーだったので、私を含めて何十台もの車が迎えに詰めかけ、ゲート前の狭い場所でUターンもできず、右往左往して

先々で女性から起業する際の問題点や、手続きで苦労している話を聞く。

ある農業系の起業を目指す女性が市役所に行ったら、「男女共同参画の部署」を紹介された。その部署に行くと、起業に関しては「商工労働部署」に行くように言われ、商工労働部署では、

旅行に行っていた母を迎えに車で金沢港に行った。金沢駅から金沢港に向かう道路の突き当りに、壁のような大きな客船が接岸されていたが、乗客が降りて来るゲートに入ろうとすると、入り口で警備員が手を「X」の形にして「ここは許可がないと立ち入り禁止だ！」

もしれない。が、家族としては、まさかゲートに車が入れないとは考えなかった。重い荷物を持った高齢の身内を船まで迎えに行くのは自然なことである。そのうえ、幹線道路に戻ろうとしても、車の切れ目も、係員の誘導も、信号もない。無理やり出て行くこととする車も多く、「危ない！」と感じるシーンの連続だった。

「観光石川」や「開かれた金沢港」、「県民・市民の安全を守る」、「県民・市民の目線に立ったサービス」を標榜するのであれば、各関係機関に改善を切望する。しかし、どこに言えばいいのか？

根性と忍耐を持って窓口を探そうとすれば、冒頭のような目にあう可能性が大きい気がする……。

読むミルク



女性起業家交流会 in 萩原 扶未子
HOKURIKU代表

今月30日から、当会と財団法人商工環境開発センターとの共催で、起業家のチャレンジ・ショップ「Dream Field」が金沢市片町で開催されます。女性ならではの身近な生活型起業を支援する会として昨年発足した「女性起業家交流会 in HOKURIKU」の活動については、これまでもこのコラムで紹介してきました。この

会の大きな目的は次の3点です。

- ① 一般的な起業ではなく、女性ならではの、身近で生活を基盤とした「生活型起業」を知ってもらう
- ② 起業を実際に体験し、PRする場(チャレンジ・ショップ)を提供する
- ③ 先輩の女性起業家を含む

で熱心に意見交換し、ネットワークを広げる場として積極的に名刺を交換していただきました。

また、人間力、起業力を高めるための「わいがや交流会」も毎週開催しています。これは一方通行の講演ではなく、講師と少人数の参加者がお酒を交わしながら一緒に考えます。

今回はチャレンジ・ショップがメインとなりますが、単純に場所を提供するだけでなく、いくつかの支援内容を準備しています。

例えば、起業家の先輩がブースを巡回しながらアドバイスし、「何が必要で、どこを改善すればいいか」を一緒に考えます。

ロン、能登の食材で作ったジェラートや総菜など多種多彩です。事前の出店者面接で話をお聞きしたり、商品を見せていただきましたが、私も立場を忘れて「買いたい!」「やってほしい!」とすっかりお客様の気持ちになっていました。

会場には、起業家の卵、支援者、スタッフで作りました「温かい」なるほど「欲しい」と感じていただけるサービスや商品が皆さんをお待ちしています。お待ちしております!

起業支援の中身知って!

め、メンター(相談相手)、ロールモデル(見本)とのネットワークを作る

5月に開催した「女性起業家(希望者)お悩み解消・交流会 in HOKURIKU」には、なんと100人の方々が集まりました。参加者は女性特有の課題などについて小グループ

ら、膝を突き合わせて語り合う場です。忘れてならないのは、主に賛同し、忙しい中、手弁当で支えてくれるメンターと、物品や資金を提供いただいている協賛企業の皆さんの存在です。こうした方々の支えで活動が成り立っています。

また、画一的なブース展示にはせず、自分の個性でショップのように飾り付けできる形式になっています。各ショップが、展示の仕方と、それに伴う客の反応も学ぶことができます。

出店業種もカウンセリング、箔を使ったネイルサ
ロン、能登の食材で作ったジェラートや総菜など多種多彩です。事前の出店者面接で話をお聞きしたり、商品を見せていただきましたが、私も立場を忘れて「買いたい!」「やってほしい!」とすっかりお客様の気持ちになっていました。

会場には、起業家の卵、支援者、スタッフで作りました「温かい」なるほど「欲しい」と感じていただけるサービスや商品が皆さんをお待ちしています。お待ちしております!

チャレンジショップは30日~1月27日の午前10時~午後7時(元日除く)、金沢市片町1-1の32(旧NTビル)。詳細はホームページ(<http://dreamfield.jp>)。

読むミルク



インターネット上の「ブログ」をご存知でしょうか？

ブログは個人や数人のメンバーで運営され、日々更新することを目的とした日記的なウェブサイトのことを指します。

ホームページは機能が豊富な分、作成や運営には多少のコンピュータ知識と時間が必要です。これに対し、ブログは無料で使用で

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

みるサイトがたくさんあり、操作も簡単です。ブログの世界には、日常生活で起きたことや感じたことなどを「誰かに言いたい」「共感してほしい」「感想がほしい」という人が、老若男女を問わず、驚くくらいたくさん存在します。

0万人を超え、閲覧者は3000万人を超えたそうです。ちなみに、中国のブログ人口は2007年に1億人を突破したそうです(すごい！)。

私もブログを書き始めて1年になろうとしています。コメントの書き込みはそれほどでもないのですが、「風邪をひいた」と書くくと、仕事先や電話で「ブログ見たよ。大丈夫？」と、言ってくれる人もいます。「毎日、あなたのブログを

急増するブログ人口

また、仕事に関することも日々、簡単に、語りかけるように更新することができ、「投資」や「鉄」など専門的な分野に特化したブログも増えていきます。そのほか、社員採用時に人事担当部署が応募者のブログを閲覧し、事前に嗜好や生活習慣、考え方を調べるという「!?」な活用まで多々あ

の人のブログを見て「どんな人?」「最近の動きとは?」「趣味は?」と調べるようになってきています。そのほか、社員採用時に人事担当部署が応募者のブログを閲覧し、事前に嗜好や生活習慣、考え方を調べるという「!?」な活用まで多々あ

見るのが習慣になっているよ」と言われることもあり、見えない糸がつながっているようで、うれしい気持ちになります。

ブログでは、仕事の内容も少しずつ、かみ砕いて紹介できるので、よいPRツールになっています。また、私という人間もわかってもらえるので、忙しい日でもブログはほぼ毎日、更新しています。

最後に私のブログの宣伝。「萩原扶未子のひとり言」(http://hagi-hara-fumiko.blogspot.com)のタイトルで、日々の出来事や、いま研究している「男女の特性(ジエンダー)」について、仕事や家庭で「なるほど」と、みなさんのお役に立つ内容を書いています。ぜひ、ご覧くださいね!

ウェブ(Web)はWorld Wide Web(ワールド・ワイド・ウェブ)の略で、インターネットで一般的に使われているホームページの技術を使用したサービス。サイトは、ひとまとまりに公開されているウェブページ群。

読むミルク



ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

重要さが増すメンタリング

でメンター制度を取り入れる企業があり、社員が気軽に相談できる取り組みとして注目が集まっています。よく「コーチング」という連うのかと言われますが、コーチングは技術的なサポートを指し、メンタリングは心構えなどのサポートとなります。アメリカでは、

でメンター制度を取り入れる企業があり、社員が気軽に相談できる取り組みとして注目が集まっています。よく「コーチング」という連うのかと言われますが、コーチングは技術的なサポートを指し、メンタリングは心構えなどのサポートとなります。アメリカでは、

私には女性起業家の創出支援をしています。周囲に女性起業家がほとんどいない彼女たちにとってメンターの存在は必要不可欠です。このため、まだあまり知られていないメンターの存在を知ってもらおうことや、先輩の女性起業家にメ

なポイントです。メンターに時間を作ってもらい、指導、助言してもらったための努力がその人を向上させていくという側面もあります。では、どうすればメンターと出会えるのか。自分が指導や助言を仰ぎたいと思っている相手でも、忙しい

「メンター」という言葉がよく聞かれるようになってきましたが、ご存知ですか？

「優れた指導者」とか「信頼のおける相談相手」という意味で、アメリカでは盛んに使われています。元々はアメリカの企業が女性社員のキャリアアップを図るため、直接の上司ではなく、立場を理解している人からアドバイスを受けられるように取り入れた制度と言われています。日本でも人事管理

スポーツ選手や経営者をコーチとメンターの両方がサポートすることが当たり前になりました。現代はストレス社会にもかかわらず、人間関係が希薄になってきています。経験を積んだ人から、自分の環境を理解した上で真摯な助言を受けられる機会が少ないため、新たな役割としてメンターが生まれてきた

メンターとして協力していたコーチとメンターの両方がサポートすることが当たり前になりました。現代はストレス社会にもかかわらず、人間関係が希薄になってきています。経験を積んだ人から、自分の環境を理解した上で真摯な助言を受けられる機会が少ないため、新たな役割としてメンターが生まれてきた

メンター制度は、一方通行では長続きしません。互いに「win-win」(得るものがある)が重要

私も、皆さんのメンターのおかげで日々、頑張ることが出来ます。メンターから受けた恩を、今後は自分がメンターとなって少しでもお返ししたいと考えています。女性起業家のみなさんが良いメンターと出会い、さらに飛躍、安定されることを祈っています。

◇ 参考資料「仕事も人生もメンターがいれば、うまくいく」宮崎ゆかり(ユウメディア)

地方経済は一部を除き、相変わらず元気がなく、衰退気味です。地域経済の活性化には「起業」による「売り上げと雇用」が大きな効果を生み出すと言われています。

しかし、景気が悪い中、簡単に起業できるわけではありません。起業率より廃業率が高いことからわかるように、継続は難しいものがあります。

今回お話しする起業とは、成



長を目標とした従来の起業ではなく、今の生活を基盤とした安定志向の「生活型起業」です。資金調達も無理なく、利益追求型ではありません。これまで販売ベースに乗せにくかったサービスで起業することも可能で、主婦などに向けた起業。パートナーと言えます。

生活型起業は、専門知識や経験が必要な綿密なビジネスプラン作りや起業資金の調達、営業

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

「女性起業塾」に期待

に苦労することも少なくて済みます。女性ならではの視点だからこそ、できることも多々あります。

ただ、やり方や考え方が違うため、これまでの男性主体、成長主体の指導や支援では、かえって芽を摘む結果になっていました。この反省から、女性ならではの生活型起業による地域経済の活性化に着目し、支援活動を行っている例として、七尾市の「のと・七尾女性起業塾」があります。

この塾では、「何かをしてみたい」という女性に、「女性ならではの起業」という選択肢を

知ってもらい、「やってみよう！」と思わせる流れを作っています。

普通は研修会だけで終わる例が多い中、女性たちに各機関とのネットワーク作りやチャレンジショップへの出店、市役所でのPR展の開催などきめ細かく、実践的な支援をしています。このため、徐々に彼女たちの中でネットワークが作られ、コラボレーションでのサービス展開や成功事例が出始めています。

今年5月、「第2回のと・七尾女性起業塾」が開催されます。今回は、1期生がメンター(相談相手)やロールモデル(見本)として運営を手伝う点も特徴です。小さな力の結集が、元気で力強い「まちづくり」につながっていきます。七尾の活動が良い見本となり、「まちづくり」の一つとして全国に波及していくことを願っています。



読む ミルク



皆さんの家では、買い物をするときの決定権は、誰にありますか？ 自分？ 配偶者？ 少し前までは「夫の許可を得ないと……」という言葉をよく耳にしました。ところが、最近は「妻に聞いてみる」に変化しているように感じます。それを裏付けるように、購入するときの決定権（購買権）は、モノにもよりますが、

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

8割が妻側にあるという調査結果があります。これは、一家の家計を夫ひとりが支える形から共働きに移行したことで、給料が銀行振り込みになり、これまで給料日に夫から妻に生活費を渡していたのが、逆に夫が妻から月々の小遣いをもらう形に

なっています。例えば、カタログひとつ取っても、男性の視点では「機能」や「データ」を中心に作られます。しかし、女性の視点だと「かわいい」「楽しい」など、感性に訴える言葉や絵などが必要です。このことは、製造から販売まですべてに通

ものになっています。女性の視点による新マーケット開拓は、景気の低迷に伴う競争激化で変化が激しい時代の中、生き残りの手段として必要であると理解はされていますが、本当のやり方が分からないため成功例が少ないのが現状です。

女性の目 経営に生かせ

そのためか、ジェンダー（男女の特性）の研究をしている私に

変わったことが大きく影響しています。そうすると、これまでのような男性中心のモノの作り方やPRの仕方、販売の仕方が通用しなくなってきました。そのため、「女性の視点による新マーケット開拓」が俄然、注目されるようになりまし

じます。ところが、どの部門にも統括してメンバーを牽引（けんいん）できるだけの女性が育っていません。また、女性から意見は聞いても、最終決定は男性が行うので、結局は男性の視点のフィルターにかけられてしまい、結果は従来と変わらない

「男女の特性を経営に生かそう！」「女性の発想と感性を経営に生かす」「新たな男女の特性活用の時代へ」などの講演依頼が増えているのも、時代の反映だと思われま

女性の視点による新マーケットの開拓について考えてみませんか？

読む ミルク



山代温泉の楽劇「大田楽」をご存知ですか？ 先日、知人から声を掛けられ、鑑賞する機会に恵まれました。

大田楽は歴史的な催しではなく、日本を代表する狂言師だった野村万之丞さんによる創作楽劇で、今年で13回目。平安時代から室町時代にかけて流行した五穀豊穡を祈る

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

「田楽」という舞に、現代と西洋の感覚を取り入れて創作されたそうです。

服部神社前の特設会場は、石段前の道路の両サイドが階段式の観客席となり、どこからでも舞台が見られるように設営されていました。開演時

色とりどりの衣装や笠をまとった地元の老若男女が笛や太鼓に合わせ、すばらしい構成の踊りを披露してくれました。

舞台と観客席が同じ目線で、しかも極めて近距離に設置され、なんとも言えない臨場感、一体感がありました。

こともなく、風情を感じることもなく、翌日には朝食を食べて早々と宿を出る――。

しかし、山代温泉の大田楽は、会場まで歩きながら温泉街の風情を楽しむことができて、地元の人たちが、派手ではないけれども感動を与える演出に繰出で取り組んでいます。こうした試みは、温泉街の人たちのま

山代温泉の大田楽

間の午後8時、配布されたうちわに書かれたプログラム通り、どこからともなく懐かしくなるような古の響きが聞こえて来ました。

しばらくすると、女優の松坂慶子さんが2人の愛娘を笹女として従え、神事の火入れ式が始まりました。そして、

1993年度に文化庁芸術祭賞を受賞したのもうなずけます。

各地の温泉街は、マンネリ化や過大な設備投資で衰退が進んでいるといわれています。夕方に入館して大浴場に入り、代わり映えのない部屋で食事をし、温泉街を巡る

意欲の向上や、山代温泉へのリピーターを生み出す付加価値の創出につながっていると感じました。

来年は時間に余裕を作り、大田楽が始まる前にゆっくりと山代温泉街を散策したいと思います。みなさんも鑑賞してみませんか？

読む ミルク



北陸地域の女性のためのコミュニティサイト「花さんか」(HANASANKA.jp)が、24日に開設されることになりました！

昨今の交通網の整備と情報網の発達により、北陸3県のつながりはファッションやグルメにとどまらず、女性がタッチする仕事においても緊密になってきています。ところが、これまでのサイトは運営側の企業色が強く、運用も地域や内容が限定され、北陸をひとくくりにした女性向けの

女性起業家交流会 in HOKURIKU代表 萩原 扶未子

サイトはほとんどありませんでした。

「花さんか」は、北陸3県をベースに、さらに全国の情報も取り込んだ今までにない女性のためのコミュニティサイトです。読売新聞北陸支社が開設し、女性起業家の創出や支援のための活動などを行っている「女性起業家交流会 in HOKURIKU」

方の方言で「おしゃべりしましょ」を意味する「話さんか」でも掛け合せています。

構成は大きく2部に分かれます。一つは「働く・仕事・キャリアアップ」をテーマに、セミナーやイベント、働く女性の子育て支援、女性ならではの起業について話す場です。もう一つは「遊ぶ・暮らす」がテーマで、健康やエス

日午後6時半～8時、ANAクラウンプラザホテル金沢(金沢市昭和町)で記念パーティーが開かれます。「花さんか」に関心のある人ならだれでも無料で参加でき、おいしい料理やスイーツを味わいながら、北陸3県の女性同士が交流を深める企画です。新サイトの紹介デモも行われます。花さんかホームページ

http://www.han

女性同士で「話さんか」

が運用します。ソーシャル・ネットワークキング・サービス(SNS)形式で、事前に会員登録が登録してあるので、カフェで語り合うように安心しておしゃべり(情報交換)できます。

テ、旅行、グルメなどに関するコミュニティ広場です。サイトは、年齢に関係なく、女性が「今日、うれしいことがあった!人に話すほどのことじゃないけど、誰かに聞いてほしい。そんな時はここでゆつくり『話さんか』という場を提供することを目指しています。

「花さんか」の「花」は女性の象徴で、「さんか」はコミュニティに「参加」することを表しています。北陸地

サイトの開設を記念して24

て、いろんなことを「話さんか」!

女性起業家交流会 in HOKURIKU 2006年10月発足。北陸3県を一つの経済圏としてとらえ、調査研究をベースに女性起業家の創出や支援に関する勉強会や交流会、提言を行っている。各女性起業家の会と行政、金融など関連機関との橋渡し役もしている。

asanka.jp)から申し込むことができます。みなさん気軽に参加してください。

読む ミルク



ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

私のライフワークである「女性起業家の創出支援の調査」をしていると、必ずと言っていいほど転機にかかわる「出会い」の存在があります。その出会いがあったからこそ「起業を思い立った」「経営を安定できた」「危機を乗り越えられた」「新たなサービスが生まれた」などなど。振り返ってみると、私自身の起業時も、今日につながっ

ているといえる幸運な出会いがありました。

起業して最初の出会いは、デザイン事務所のT社長でした。この方から安定的な仕事の発注があったので、資金的にスムーズな船出ができました。それ以外にも、25歳で経営のことが何もわからないだけでなく、社会人としてのス

ずかしくなるくらいお粗末なビジネスプランを手に、何か所の金融機関を訪問しまし

た。どの窓口も「コンピューターなんて良くわからないし、融資実績がない」「結婚したばかりなんだから、子供を産んで主婦に専念するのが幸せな道だよ」と言われ、内容もほとんど聞いてもらえ

「ブス」と感じていたところに私が現れ、Mさんも驚かれたそうです。その金融機関は製造業向けの大口融資が専門にもかかわらず、サービス業向けの小口の融資をしていた

ことができました。Mさんからは融資だけではなく、試算表の読み方やほかから認められる財務体質作り、金融機関との付き合い方などを細かく指導してもらい、経営者として必要な経理の知識を得ることができました。

転機となる出会い

キルも乏しかった私に、仕事の請け負い方や社員管理などを親切に教えてくれたので、何とか会社としての形を作ることができました。

次の出会いは、公的金融機関のMさんでした。当時、事業拡大に向けて運転資金を捻出するため、今から思えば恥

ませんでした。あきらめの心境で最後にもう一か所と訪れた公的金融機関で、コンピューターに詳しいMさんが対応してくれたのです。ちょうど私の事業が取り上げられた新聞記事を読まれている、「これからのコンピューター時代に必要なサ

起業時にこのお二人との出会いがなければ、多分、私は事業で挫折していたか、大きな回り道をしていたと思います。この出会いに心から感謝するとともに、皆さんにも人生の転機に結びつく出会いがあることを祈念しています。